

12月12日～23日

心温まる作品がずらり 弟子屈郵便局で中村さんの作品展開催



町内在住の中村日汀さんの作品展「癒しのひととき展～幸せのおすそ分け～」が12月12日～23日まで、弟子屈郵便局（藤原将男局長）で開催されました。この作品展は弟子屈町地域支えあい推進会議の事業の一環として企画されたもので、今年で3回目。中村さんが50年以上作り続けている詩・色鉛筆画の作品を展示しています。今回は23点の作品が展示され、来局者からは「見ていて癒される」との声が聞かれました。中村さんは「わいてくるイメージを詩や絵にして届けている。たくさんの人に見て頂けてうれしい」と笑顔で話していました。

12月16日

12月の恒例行事 認定こども園ましゅうで餅つき大会を実施



認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）の餅つき大会が12月16日、同園で行われました。餅つきは、お正月を前に毎年行われていますが、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒とマスクの着用が徹底され、園児用の小さな臼ときねが使用されました。園児たちは順番に「よいしょ、よいしょ」という元気な掛け声に合わせて、計2キロの餅をつきました。園児からは「楽しかった。もっと餅をつきたい」などの声もあり、楽しい餅つき大会になりました。ついた餅は、園の鏡餅として飾られました。

11月22日

地域教育の推進のために 令和4年度弟子屈町総合教育会議を開催



弟子屈町総合教育会議が11月22日、町役場で開催されました。この会議は地方教育行政の組織および運営に関する法律に基づき、すべての地方教育団体に設置されるもので、町でも町長と教育委員会とが十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有し、相互に連携を図っていくため毎年開催されています。会議には、徳永町長、岩原教育長、4人の教育委員が出席し、新川湯保育園建設事業や中心市街地再構築事業における複合施設、令和5年度教育関係重点事業について議論されました。会議の内容については町公式ホームページで掲載されています。

12月20日

人権ってなんだろう？ 人権教室を開催 | 和琴小学校



釧路人権擁護委員会主催の人権教室が12月20日、和琴小学校（渥美清孝校長）で開催されました。講師は弟子屈町人権擁護委員の日下部真理子さん、金井典子さん、芳藤啓順さん。児童は1・2年生、3・5・6年生の2グループに分かれ、誰もが持つそれぞれの個性や、いじめなどの身近な人権問題をテーマにしたDVDを視聴。講師の皆さんは「人権とは人が安心して幸せに暮らせる権利のこと」「自分だけではなく、皆の幸せのことを考えて生活してほしい」と話し、児童は真剣に講師の話聞き、人権への理解を深めていました。

12月19日

安全運転への意識新たに 弟子屈町交通安全大会を開催



弟子屈町交通安全運動推進協議会・弟子屈町交通安全協会主催の令和4年度弟子屈町交通安全大会が町公民館で行われました。大会には、自治会関係者など約50人が参加。弟子屈地区交通安全協会から、優良運転者などに対する表彰が行われ、12人が表彰を受けました。また、弟子屈警察署の渡部真大地域・交通課長による講演「冬の交通事故について」も行われ、参加者の皆さんは熱心に聞き入り安全運転への意識を新たにしていました。

12月9日

地域の料理を楽しく学ぶ イモ・カボチャ団子教室開催 | 美留和小学校



美留和小学校（佐藤義行校長）で12月9日、「イモ団子・カボチャ団子教室」が行われました。同校と美留和ラブの会（美留和小学校を応援する会）の共同企画で、3回目の実施。美留和地域でも昔から食べられていた料理を知ってほしいとの目的で、同会の藤原直美さんと、美留和在住歴57年の若松壽江さん、同71年の渡邊伊勢子さんを講師に招き、同校の児童5人がやり方やコツを教わりながら楽しんで調理しました。完成した団子は、お汁粉にしたり、砂糖、しょうゆ、バターなどのさまざまな味で楽しみました。児童からは「生地をまとめるのが楽しかった」「おいしかったのでまた作りたい」との声が聞かれました。

11月30日

学校保健振興に尽力 学校保健功労表彰式を開催 | 弟子屈高校



弟子屈クリニック院長の行木紘一さん、高台歯科クリニック院長の佐藤宏幸さんが学校保健功労表彰を受賞し、その表彰式が11月22日、弟子屈高校（加藤誠校長）で開催されました。長年にわたって学校保健の振興に貢献してきたとして、北海道学校保健会から表彰されたもの。行木さんは29年にわたり同校の学校医として、佐藤さんは21年にわたり同校の学校歯科医として、生徒の健康や衛生管理に尽力されています。式では加藤校長から表彰状が手渡され、行木さんは「1学年3クラスあったが、年々生徒が減っていくのが寂しい」、佐藤さんは「コロナ禍前は医院まで生徒に来てもらっていたのが印象深い」とこれまでを振り返りました。

1月4日

年の初めに防災意識を新たに 弟子屈町消防出初式を開催



弟子屈町消防出初式が1月4日、弟子屈消防庁舎前で行われました。出初式は、消防力の強化と、消防職団員の士気高揚を目的に開催されています。式には、消防職団員や来賓など約100人が参加。団員による分列行進の後、徳永（町長）釧路北部消防事務組合長らによる観閲式が行われ、徳永組合長は「皆さんのおかげで町民が平和に安心して暮らしている。今年も力を合わせ消防・防災に尽力してほしい」と激励しました。また別に、長年消防活動に従事してきた消防団員の表彰伝達式も行われました。

12月21日

特殊詐欺と飲酒運転撲滅を年賀はがきで呼びかけ 弟子屈郵便局で年賀タウン差出セレモニー



特殊詐欺被害と飲酒運転の撲滅を呼びかける年賀はがき「年賀タウン」の差出セレモニーが12月21日、弟子屈郵便局（藤原将男局長）で開催されました。弟子屈地区金融機関防犯連絡協議会（会長・小枝憲正北洋銀行弟子屈支店長）主催による、特殊詐欺への警戒、飲酒運転防止を啓発するメッセージが書かれたはがきを弟子屈・標茶両町の計200戸に配布する取り組み。セレモニーには井元秀樹弟子屈警察署長、小枝会長が出席し、同郵便局の配達員にはがきを手渡しました。小枝会長は「今後も両町の皆さんの大切な財産を守るための取り組みを続けたい」とお話ししました。

12月12日・19日

卒業記念に特別な作品を 川中と弟中の3年生が陶芸を体験



令和4年度ふるさと陶芸体験学習が12月12日と19日、川湯中学校（藤田崇充校長）と弟子屈中学校（成瀬剛慈校長）でそれぞれ行われました。中学3年生の卒業記念作品の制作として毎年行われているものです。今年は弟子屈中学校の生徒33人と川湯中学校の生徒4人が体験。川湯陶房摩周夢窓の平出隆子さんとスタッフの皆さんの指導のもと、丁寧に制作しました。時にはスタッフの方に手伝ってもらったりしながら、世界に一つだけの作品を作り上げました。作品は平出さんの窯で焼き上げられ、1月に町公民館で展示された後、生徒たちの手元に届けられます。

12月9日・20日

これからもむし歯ゼロを目指して 3歳児健診でむし歯のなかった子を表彰



町が行う歯ピカ表彰式が12月9日に川湯保育園（勝山弘子園長）で、20日に認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）でそれぞれ行われました。この表彰は、3歳児健診でむし歯のなかった子を表彰するもので、今回は令和3年度の同健診でむし歯のなかったお子さんへ表彰状と記念品が贈られました。中学生までに生えそろう歯は一生の宝物です。小さい頃から歯に良い生活習慣を身に付け、今後もむし歯ゼロを目指し続けましょう。